

第 28 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム

■会長講演

1 日目 (3 月 9 日) 13:00 ~ 13:30

第 1 会場 (マリオス 大ホール)

座長 高階謙一郎 (京都第一赤十字病院)

会長講演 人材育成～東日本大震災被災地からの発信～

岩手医科大学 医学部救急・災害医学講座 眞瀬 智彦

■特別講演 1

1 日目 (3 月 9 日) 17:00 ~ 18:00

第 2 会場 (マリオス 小ホール)

座長 眞瀬 智彦 (岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座)

SL1-1 パイロット養成課程から考える人材育成

山崎 英一

■特別講演 2

1 日目 (3 月 9 日) 13:40 ~ 14:40

第 3 会場 (アイーナ 8 階 804)

座長 久保 達彦 (広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学)

SL2-1 Design Process for Training Emergency Medical Teams (EMTs) in High and Low Resource Settings

Training in Aid Rich Parker

■特別講演 3

1 日目 (3 月 9 日) 14:50 ~ 15:50

第 3 会場 (アイーナ 8 階 804)

座長 豊國 義樹 (国立病院機構本部 厚生労働省 DMAT 事務局)
横堀 将司 (日本医科大学)

SL3-1 21st Century Emergency Response – Lessons Learned, Challenges, and Innovations

Deputy Assistant Secretary, U.S. Department of Health and Human Services Denis Fitzgerald

■特別講演 4

2 日目 (3 月 10 日) 14:10 ~ 15:10

第 3 会場 (アイーナ 8 階 804)

座長 久保 達彦 (広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学)

SL4-1 Field Hospital Engineering and AUSMAT

National Critical and Trauma Response Centre, AUSMAT- Australian Medical Assistance Team
Terence(Terry) Michael Trewin

■特別講演 5

3 日目 (3 月 11 日) 13:00 ~ 14:30

第 1 会場 (マリオス 大ホール)

座長 阿南 英明 (神奈川県庁 / 藤沢市民病院)

SL5-1 新型コロナ これまでとこれから

公益財団法人結核予防会 理事長 尾身 茂

■特別講演 6

3 日目 (3 月 11 日) 10:00 ~ 10:50

第 2 会場 (マリオス 小ホール)

医師であり官僚・政治家でもあった後藤新平から学ぶ～帰還兵検疫や関東大震災復興の偉業～

座長 山本 保博 (医療法人伯鳳会 東京曳舟病院)

SL6-1 「日清戦争帰還兵検疫事業 & 帝都復興事業 (関東大震災)」の陣頭指揮を執った後藤新平

奥州市教育委員会 後藤新平記念館 佐藤 彰博

■特別企画 1

1 日目 (3 月 9 日) 13:40 ~ 14:40

第 1 会場 (マリオス 大ホール)

【東日本大震災】東日本大震災から 12 年、被災地からの発信～被災 3 県合同討論～

座長 古舘 友華 (テレビ岩手)

SP1-1

東京医科歯科大学大学院 救急災害医学分野 大友 康裕

SP1-2

岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座 教授 眞瀬 智彦

SP1-3

東北大学病院総合地域医療教育支援部 石井 正

SP1-4

福島県立医科大学附属病院ふたば救急総合医療支援センター 島田 二郎

■特別企画 2

1 日目 (3 月 9 日) 14:50 ~ 16:00

第 1 会場 (マリオス 大ホール)

VS 南海トラフ地震 つなぐ議論のバトン! ~ 1st メッセージ: 南海トラフ地震に活かす過去の教訓~

座長 小井土雄一 (国立病院機構本部 厚生労働省 DMAT 事務局)

SP2-1 南海トラフに活かす東日本大震災の教訓

岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座 教授 眞瀬 智彦

SP2-2 南海トラフ地震における支援県の役割について~攻めると守る~

京都第一赤十字病院救急救命センター 高階謙一郎

SP2-3 過去の災害から学ぶ愛知県臨海部の災害拠点病院での防災・減災

名古屋掖済会病院 救命救急センター 北川 喜己

■特別企画 3

2 日目 (3 月 10 日) 8:20 ~ 9:40

第 1 会場 (マリオス 大ホール)

関東大震災

座長 大友 康裕 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 救急災害医学分野教授)
近藤 久禎 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)

SP3-1 関東大震災における救護体制とその問題点

東京大学大学院人文社会系研究科 教授 鈴木 淳

SP3-2 関東大震災の教訓～災害医療の観点から～

岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座 教授 眞瀬 智彦

SP3-3 日赤の関東大震災の活動について

日本赤十字医療センター 林 宗博

SP3-4 関東大震災における救護活動とそれから

福井大学 名誉教授 酒井 明子

■特別企画 4

2 日目 (3 月 10 日) 14:10 ~ 16:10

第 1 会場 (マリオス 大ホール)

防災学術連携体「災害から国土と命を守る専門家をどう育てるか」

座長 米田 雅子 (東京工業大学 環境・社会理工学院 特任教授)
大友 康裕 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 救急災害医学分野教授)

SP4-1

新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野 高橋 昌

SP4-2

日本地震学会 災害調査委員会 吾妻 崇

SP4-3

岩手県立大学 総合政策学部 講師 杉安 和也

SP4-4

東北大学大学院理学研究科 地球物理学専攻 教授 西村 太志

SP4-5

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 安全研究・防災支援部門 原子力緊急時支援・研修センター長 宗像 雅広

■特別企画 5

2 日目 (3 月 10 日) 15:10 ~ 16:40

第 3 会場 (アイーナ 8 階 804)

ウクライナ紛争—武力紛争事案への日本からの支援

座長 富田 博樹 (日本赤十字学園)
小井土雄一 (国立病院機構本部 厚生労働省 DMAT 事務局)

SP5-1 JICA 調査団のモルドバ共和国への派遣経緯と成果

広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 久保 達彦

SP5-2 人為災害における緊急医療支援の検討—モルドバ共和国での医療保健ニーズ調査よ り—

東京医科歯科大学病院 看護部 / 国際緊急援助隊医療チーム 高村 ゆ希

SP5-3 モルドバ共和国へのウクライナ避難民発生に係る緊急人道支援・保健医療分野協力 ニーズ調査～オデッサ危機に対する対応～

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科 /
独立行政法人 国際協力機構 国際緊急援助隊事務局 医療チーム 大場 次郎

SP5-4 2022 年モルドバ Emergency Medical Team Coordination Cell (EMTCC) の運営支援と 今後の展望

国立病院機構本部 厚生労働省 DMAT 事務局 豊國 義樹

SP5-5 ウクライナ人道危機 国際緊急救援ロジスティクス要員の活動

大阪赤十字病院 国際医療救援部 河合 謙佑

SP5-6 ウクライナ人道危機救援事業 - 従来とは異なるアプローチ方法を経験して -

大阪赤十字病院 国際医療救援部 / 大阪赤十字病院 薬剤部 仲里泰太郎

SP5-7 ウクライナ戦争避難民への人道的支援におけるロジスティクス活動

福岡大学 薬学部 臨床薬学 江川 孝

SP5-8 日本発 国際 NGO によるウクライナ避難民支援

ピースウィンズ・ジャパン 空飛ぶ捜索医療団“ARROWS” 稲葉 基高

■特別企画 6

2 日目 (3 月 10 日) 16:40 ~ 18:10

第 3 会場 (アイーナ 8 階 804)

ウクライナ医療関係者 (医師、医学生) の現状

座長 久保 達彦 (広島大学)
大場 次郎 (順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科)
發知 佑太 (順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科)

SP6-1 Blood banking and blood transfusion managing in mass casualty admission. Massive transfusion protocol.

MD, Head of the Department of Clinical Transfusiology of Blood Service Center, National Children's Specialized Hospital
"Ohmatdyt", Ministry of Health of Ukraine, Kyiv Olena Nesterenko

SP6-2 The organization of military dental service in Ukraine.

DDS, Poltava State Medical University, PhD student in Dentistry Maksym Skrypnyk

SP6-3 **Changes in the medical education and medical system of Ukraine during the Russian-Ukrainian war**

Medical student, Bogomolets National Medical University, Kyiv Oleksandra Riabets

SP6-4 **Strategy of Damage control resuscitation lesson learned at russian-Ukrainian war**

MD, PhD, Surgeon of 61 Mobil army surgical hospital Dmytro Olexandr Samofalov

SP6-5

The head of the National Center for Disaster Medicine of the Ministry of Health of Ukraine Dr. Vitaly Krylyuk

SP6-6 **Successful experience of resuscitation after death from hemorrhagic shock. Surgical tactics "damage control" of hopeless patients.**

MD, Surgeon of 65 Mobil army surgical hospital, tactical medicine instructor, head of the 44th Training Center, the head of the medical service of the Medical volunteer battalion Hospitaliers Dmytro Androshchuk

SP6-7 **How to share knowledge with colleagues and save lives of your team members. My way into non-associated surgery.**

MD, surgeon. Member of Medical volunteer battalion "Hospitaliers". Plastic surgery fellow in Juntendo University Oleksandr Sokolenko

■特別企画 7

2 日目 (3 月 10 日) 10:00 ~ 11:00

第 5 会場 (アイーナ 8 階 812)

CBRNE 対応の過去・現在、そして未来

座長 島田 二郎 (福島県立医科大学附属病院)

SP7-1 **我が国の CBRNE 対応は大丈夫か？一机上の空想の罨**

東京医科歯科大学 大友 康裕

SP7-2 **救命という目的達成のために動き出した CBRNE 災害・テロ対応の改変
～病院での対応を中心に～**

藤沢市民病院 阿南 英明

■特別企画 8

3 日目 (3 月 11 日) 8:50 ~ 10:10

第 1 会場 (マリオス 大ホール)

新世代が考える災害対応！未来への発信 (高校生)

座長 小早川義貴 (国立病院機構本部 DMAT 事務局 福島復興支援室)

SP8-1

岩手県立宮古高等学校 赤沼穂乃香

SP8-2

佐藤 瑠美

SP8-3

岩手県立山田高等学校 生駒 一真

SP8-4

上林 美玖

SP8-5	岩手県立大槌高等学校	紺野 愛実
SP8-6		高橋さくら
SP8-7		前川 緑希
SP8-8	岩手県立釜石高等学校	小笠原 桜
SP8-9		大瀧 沙来
SP8-10	岩手県立大船渡高等学校	近藤 羽那
SP8-11	高田高校普通科	吉田 煌

■特別企画 9

3 日目 (3 月 11 日) 10:20 ~ 11:40

第 1 会場 (マリオス 大ホール)

新世代が考える災害医療！未来への発信 (大学生)

座長 柏木 杏奈 (長崎大学 医学部 医学科)
高橋 佑奨 (北海道医療大学薬学部薬学科)

SP9-1 学校管理下での大震災 - 教職員の対処と防災教育 -

慶應義塾大学 政策・メディア研究科 大倉 加子

SP9-2 土砂災害における数値シミュレーション

東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 木村 凌一

SP9-3 多分野の学生がつなぐ防災の輪

よんなな防災会 学生部 / 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 上田 啓瑚

SP9-4 災害時の保健医療福祉におけるリスク分析

芝浦工業大学 大学院 理工学研究科 システム理工学専攻 藤田 楓

SP9-5 医療系学生が考えるこれからの災害医療、災害医学教育

長崎大学 医学部 医学科 学生 柏木 杏奈

■特別企画 10

3 日目 (3 月 11 日) 12:50 ~ 14:20

第 3 会場 (アイーナ 8 階 804)

有事の際の邦人避難について

座長 仲本 光一 (岩手県奥州保健所)

SP10-1 98年ジャカルタ暴動の退避経験から

MB Logistics Director 太田 勉

- SP10-2 海外邦人退=ジャカルタ騒乱の際の家族の物語
NPO 国際人をめざす会 副会長 / 一般社団法人海外邦人安全協会 理事 / ジャムズネット日本 理事 福永佳津子
- SP10-3 イラク戦争（イラクの自由作戦）：核生物化学兵器対策
千葉県松戸健康福祉センター センター長 古閑比斗志
- SP10-4 自衛隊機を用いた在外邦人等輸送の医療調整
自衛隊入間病院 診療部 宮脇 博基
- SP10-5 有事の際の国外退避
海外邦人安全協会 小野 正昭
- SP10-6 有事の際の邦人避難について
岩手県 奥州保健所 仲本 光一

■特別企画 11

3 日目（3 月 11 日）8:20 ～ 9:50

第 5 会場（アイーナ 8 階 812）

富士山噴火災害について考える

座長 小井土雄一（国立病院機構 DMAT 事務局）

- SP11-1 活火山としての富士山と次の噴火で起きうる状況
富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター 石峯 康浩
- SP11-2 降灰によるインフラ災害への対応
国立病院機構本部 DMAT 事務局 災害医療課 大野 龍男
- SP11-3 富士山噴火 神奈川県への対応—避難人口 10 万人、降灰県全域全県民 900 万人にどう備えるか—
日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 井上 潤一
- SP11-4 富士山噴火に対する山梨県の計画
山梨県立中央病院 高度救命救急センター 岩瀬 史明
- SP11-5 富士山噴火避難確保計画に基づいた病院避難実動訓練の実施
富士吉田市立病院 整形外科 近藤 充徳
- SP11-6 桜島の爆発的噴火への対応のあり方 - 噴火警戒レベル 5 の経験を振り返る -
鹿児島市立病院 救急科 吉原 秀明

■シンポジウム 1

1 日目（3 月 9 日）16:10 ～ 18:20

第 1 会場（マリオス 大ホール）

新型コロナウイルス感染症の過去・現在、そして未来

座長 阿南 英明（神奈川県 / 藤沢市民病院）
近藤 久禎（国立病院機構本部 DMAT 事務局）

- SY1-1 新型コロナウイルス感染症への対応 — 日本環境感染学会における対応を中心に —
東京慈恵会医科大学 感染制御科 吉田 正樹

- SY1-2 パンデミックにおける感染症危機管理
大東文化大学 スポーツ・健康科学部健康科学科 中島 一敏
- SY1-3 新型コロナウイルス感染症対策の経験から得た保健所の感染症対策の課題と近未来
枚方市健康福祉部 保健所 白井 千香
- SY1-4 COVID-19 診療の過去、現在、未来 ―現場の知恵とこれからの羅針盤―
神奈川県立循環器呼吸器センター 呼吸器内科 小倉 高志
- SY1-5 新型コロナウイルス感染症対応における災害医学の戦略、活動と貢献
国立病院機構本部 DMAT 事務局 近藤 久禎
- SY1-6 COVID-19 対応経験から見た健康危機管理対応の人材と組織の在り方
神奈川県庁 / 藤沢市民病院 阿南 英明
- SY1-7 日本の新型コロナウイルス感染症流行とその対策
国立感染症研究所 所長 脇田 隆字

■シンポジウム 2

1 日目 (3 月 9 日) 13:40 ~ 15:10

第 2 会場 (マリオス 小ホール)

【人材育成】人材育成の過去・現在、そして未来～指揮官育成～

座長 近藤 久禎 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)
越野 修三 (元自衛隊幹部学校教官)

SY2-1 自衛隊における指揮官 (リーダー) 育成について

岩手大学 地域防災研究センター 越野 修三

SY2-2 赤十字・赤新月社の人材育成について

日本赤十字社医療センター 国内・国際医療救援部 /
日本赤十字看護大学附属災害看護研究所 情報企画連携室 丸山 嘉一

SY2-3 国際緊急援助隊医療チームの人材育成と WHO の求める国際リーダー人材

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科 大場 次郎

■シンポジウム 3

2 日目 (3 月 10 日) 10:40 ~ 12:10

第 1 会場 (マリオス 大ホール)

【人材育成】人材育成の過去・現在、そして未来～ロジスティクス～

座長 奥山 学 (秋田大学救急集中治療医学講座)
中田 正明 (兵庫県災害医療センター 放射線課)

SY3-1 災害医療ロジスティクスにおける東日本大震災での課題の振り返りと人材育成の取り組み

兵庫県災害医療センター 放射線課 / 日本災害医学会 災害医療ロジスティクス検討委員会 中田 正明

SY3-2 「災害医療ロジスティクス専門家認定制度」のこれまでと今後を検討する

兵庫県災害医療センター 放射線課 / 神戸赤十字病院 放射線科部 /
日本災害医学会 災害医療ロジスティクス検討委員会 中田 敬司

- SY3-3 DMAT ロジスティックチームの養成について
独立行政法人国立病院機構 本部 DMAT 事務局 市原 正行
- SY3-4 災害時の通信環境の変化
国立病院機構本部 DMAT 事務局 災害医療課 大野 龍男
- SY3-5 災害支援時における移動手手段、生活環境の確保
愛知医科大学 災害医療研究センター 小澤 和弘
- SY3-6 医療機関へのライフライン支援の重要性と変化、今後の展望
独立行政法人国立病院機構 本部 DMAT 事務局 鈴木 教久

■シンポジウム 4

2 日目 (3 月 10 日) 10:40 ~ 12:10

第 2 会場 (マリオス小ホール)

避難所の過去・現在、そして未来

座長 植田 信策 (石巻赤十字病院 治験・臨床研究センター)
石井美恵子 (国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 災害医療分野)

- SY4-1 「避難生活支援リーダー／サポーター」の育成に向けた取組について
内閣府 防災担当 前川紘一郎
- SY4-2 「避難生活支援リーダー／サポーター研修」によるボランティアリーダーの育成について
認定特定非営利活動法人全国災害ボランティア団体ネットワーク 代表理事 栗田 暢之
- SY4-3 被災者を取り巻く赤十字の活動について
日本赤十字社 事業局 救護・福祉部 安江 一
- SY4-4 これまでの避難所環境改善の取り組みと多職種協働について
日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター 根本 昌宏
- SY4-5 避難所の環境改善に向けた BHELP の取組み
BHELP 運営委員会 / 札幌医科大学 保健医療学部 看護学科 田口裕紀子

■シンポジウム 5

2 日目 (3 月 10 日) 17:30 ~ 19:00

第 2 会場 (マリオス小ホール)

【人材育成】災害保健医療人材育成の未来を考える

座長 高橋 昌 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野)
石井 正 (東北大学病院総合地域医療教育支援部)

- SY5-1 東北大学・福島県立医科大学の災害保健医療教育への取り組み：「コンダクター型災害保健医療人材の養成」プログラムの構築
東北大学病院 総合地域医療教育支援部 / 福島県立医科大学付属病院 ふたば救急総合医療支援センター 石井 正
- SY5-2 実践的災害医療ロジスティクス専門家の養成
新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野 高橋 昌
- SY5-3 多職種連携の災害支援を担う高度医療人養成
熊本大学病院 災害医療教育研究センター 笠岡 俊志

■シンポジウム 6

2 日目 (3 月 10 日) 15:45 ~ 17:25

第 4 会場 (アイーナ 8 階 803)

トリアージ

座長 森野 一真 (山形県立中央病院)
青野 允 (医療法人雄心会 函館新都市病院)

SY6-1 本邦における CBRNE 災害対応の新たなトリアージ

神奈川県庁 / 藤沢市民病院 阿南 英明

SY6-2 集中治療におけるトリアージ

神戸大学 医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野 井上 茂亮

SY6-3 NICU における避難トリアージの科学的論拠を如何に確立するか

名古屋市立大学病院 救急科 / 名古屋市立大学大学院 医学研究科 新生児・小児医学分野 今井 一徳

SY6-4 多数熱傷患者におけるトリアージ

防衛医科大学校 防衛医学講座 清住 哲郎

SY6-5 サージ期での新型コロナウイルス感染症入院優先度作成後の実装における問題点

日本大学 医学部 救急医学系救急集中治療医学分野 櫻井 淳

SY6-6 災害と倫理

医療法人雄心会 函館新都市病院 法人本部 青野 允

■シンポジウム 7

3 日目 (3 月 11 日) 8:20 ~ 9:50

第 2 会場 (マリオス 小ホール)

災害時における医療コンテナの活用について

座長 中田 敬司 (神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科)
山下 和範 (長崎大学病院災害医療支援室)

SY7-1 岩手県立大槌病院仮設診療所建設と医療コンテナの今後について

神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

SY7-2 大規模災害の切迫性と医療コンテナ配置の必要性

神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 前林 清和

SY7-3 海外における医療コンテナの活用について

一般社団法人 医療コンテナ推進協議会 事務局 徳丸 周志

SY7-4 COVID-19 院内感染・地域医療崩壊の防止を企図したコンテナ医療ユニット (CoMU) 開発とその効果的な運用法

愛知医科大学病院 高度救命救急センター / 千葉大学大学院医学研究院 総合医科学講座 / 東千葉メディカルセンター 救命救急センター 渡邊 栄三

SY7-5 S C U における医療コンテナ及び災害医療車両を活用した実証訓練の紹介

国立病院機構本部 災害医療センター臨床研究部 小森 健史

SY7-6 防疫機能を活かした新たな医療コンテナ活用について

日本大学 医学部 救急医学系 救急集中治療医学分野 山口 順子

■パネルディスカッション 1

1 日目 (3 月 9 日) 15:20 ~ 16:50

第 2 会場 (マリオス小ホール)

【人材育成】災害保健医療の未来～事務職～

座長 楠 孝司 (国立成育医療研究センター)
高桑 大介 (一般財団法人 日本公衆衛生協会)

- PD1-1 事務職における災害医療活動の現状
社会福祉法人恩賜財団済生会 危機管理専門員兼企画推進専門員 奥野 史寛
- PD1-2 日本一県立病院が多い岩手県の課題
岩手県立高田病院 事務局 藤丸 美優
- PD1-3 事務職員が DMAT 活動を続けるということ
京都第一赤十字病院 総務課 寺澤ゆかり
- PD1-4 災害医療に係る事務職員の人材育成と課題について 一元赤十字職員の立場から
一般財団法人 日本公衆衛生協会 健康危機管理支援部 高桑 大介
- PD1-5 災害医療における事務職の役割と育成
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 災害対策部 楠 孝司
- PD1-6 院内災害対策本部運営担当の事務職への災害教育の課題と対策
青森県立中央病院 災害医療管理監 小笠原 賢

■パネルディスカッション 2

1 日目 (3 月 9 日) 16:00 ~ 17:20

第 3 会場 (アイーナ 8 階 804)

【東日本大震災】被災地からの発信～宮城県～大震災と近年の自然災害を災害科学からの視点から考える

座長 石井 正 (東北大学病院 総合地域医療教育支援部)
佐々木宏之 (東北大学災害科学国際研究所)

- PD2-1 なぜ「歴史」は救わなければならないか？
東北大学 災害科学国際研究所 川内 淳史
- PD2-2 リアルタイム津波浸水被害予測システム
東北大学 災害科学国際研究所 越村 俊一
- PD2-3 東日本大震災における宮城県での犠牲者と向き合って：死因を考慮した犠牲者分析
東北大学 災害科学国際研究所 津波工学研究分野 /
東北大学 災害科学国際研究所 地震津波リスク評価 (東京海上日動) 寄附研究部門 門廻 充侍
- PD2-4 近年の東北地方における気象災害の傾向と対策
東北大学 災害科学国際研究所 橋本 雅和
- PD2-5 豪雨による土砂災害の予測
東北大学 災害科学国際研究所 森口 周二

■パネルディスカッション 3

1 日目 (3 月 9 日) 13:40 ~ 15:10

第 4 会場 (アイーナ 8 階 803)

【人材育成】持続可能な災害保健医療福祉支援：実践と人材育成のクリニカル・パール

座長 原田奈穂子 (岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合学域看護科学分野)
千島佳也子 (国立病院機構本部 DMAT)

PD3-1 サスティナブルな災害支援の実践と人材育成：ローカライゼーションの視点から

CWS Japan 事務局長 小美野 剛

PD3-2 多様なアクターが協働する被災者支援の現場

一般社団法人ピースポート災害支援センター 管理部 上島 安裕

PD3-3 調整機能プラットフォームへの参画と災害時の連携強化

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム 緊急対応部 柴田 裕子

PD3-4 災害人道医療支援会が目指す「持続可能な」災害保健医療支援について

認定 NPO 法人 災害人道医療支援会 (HuMA) / 兵庫県災害医療センター 救急部 甲斐聡一郎

■パネルディスカッション 4

1 日目 (3 月 9 日) 15:20 ~ 16:50

第 4 会場 (アイーナ 8 階 803)

【人材育成】災害保健医療の未来～災害支援者の食と栄養～

座長 笠岡 (坪山) 宜代 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)
濱田 真里 (兵庫県栄養士会)

PD4-1 「食べる」の哲学・ロジスティクスの視点から

神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

PD4-2 災害派遣における陸上自衛隊員の食と栄養

防衛省 陸上幕僚監部 装備計画部 装備計画課 鳥越 千尋

PD4-3 支援者の食と栄養 - 国内福島原発事故や国際緊急援助隊等の現場活動から

広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 久保 達彦

PD4-4 DMAT の携行食体制 東日本大震災での反省

長崎大学病院 災害医療支援室 山下 和範

PD4-5 管理栄養士の災害時の食事の実際 (栄養士がいたらごちそうが食べられる?)

くらしき作陽大学 食文化学部栄養学科 坂本八千代

PD4-6 災害時に気をつけたいビタミン欠乏

大阪公立大学 生活科学部 食栄養学科 叶内 宏明

■パネルディスカッション 5

1日目(3月9日) 17:00～18:30

第4会場(アイーナ8階803)

【人材育成】災害保健医療の未来～看護師～

座長 石井美恵子(国際医療福祉大学大学院 災害医療分野)
中森 知毅(労働者健康安全機構 横浜労災病院 救命救急センター)

PD5-1 災害看護活躍の可視化に向けて - ケア版 J-SPEED

広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 久保 達彦

PD5-2 看護師が本部ロジスティクス活動に関わることによる発展について

兵庫県災害医療センター 放射線課 / 神戸赤十字病院 放射線科 中田 正明

PD5-3 災害時の保健医療福祉における分野横断的な連携に関する看護師の役割～地域レベルの活動の視点より～

熊本赤十字病院 看護部 手術センター 小林 賢吾

PD5-4 災害時における看護支援活動と日本看護協会の取り組み

公益社団法人日本看護協会 看護開発部 久保 祐子

PD5-5 災害時の保健医療福祉の連携～DHEATからの視点～

国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 奥田 博子

■パネルディスカッション 6

1日目(3月9日) 15:20～16:50

第5会場(アイーナ8階812)

【人材育成】災害時の歯科保健医療体制における連携と人材教育

座長 佐藤 保(一般社団法人岩手県歯科医師会 会長)
笠岡 俊志(熊本大学病院 災害医療教育研究センター)

PD6-1 歯科医師会における災害歯科保健医療体制の構築

岩手県歯科医師会 専務理事 大黒 英貴

PD6-2 岩手医科大学歯学生への災害歯科保健医療教育

岩手医科大学 法科学講座法歯学・災害口腔医学分野 熊谷 章子

PD6-3 文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における歯科を含む職種横断的な多職種人材教育

熊本大学病院 災害医療教育研究センター 内藤 久貴

PD6-4 新型コロナウイルス感染症対応を含む歯科医師の災害医療への関わり

長崎大学 長崎大学病院 口腔管理センター・災害医療支援室 白石 千秋

PD6-5 歯科における全国的な災害時歯科保健医療救護体制の整備と人材育成

東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 救急災害医学分野 中久木康一

■パネルディスカッション7

1日目(3月9日) 17:00～18:30

第5会場(アイーナ8階812)

【人材育成】災害保健医療の未来～薬剤師～

座長 西澤 健司(東邦大学医療センター大森病院)
富永 綾(岩手医科大学 医学部 救急・災害医学講座)

PD7-1 災害薬事コーディネーターの育成と災害時必須医薬品リストの検討～災害時における
医薬品供給体制の確立に向けて～

岡山大学 学術研究院医歯薬学域 渡邊 暁洋

PD7-2 人事制度としての災害薬事コーディネーターと人材育成の関係に関する一考察

新潟大学 医学部 災害医療教育センター 和泉 邦彦

PD7-3 地域薬剤師会の自助・共助能力向上 ～J-SPEEDの技能獲得を目指した研修～

一般社団法人 住吉区薬剤師会 藤江 直輝

PD7-4 日本災害医療薬剤師学会によるコロナ禍での災害薬学教育の再開とその評価

大阪府 健康医療部保健医療室感染症対策企画課 / 日本災害医療薬剤師学会 教育・研修委員会 辻野 悦次

PD7-5 災害医療 ACT 研究所による災害薬事コーディネーター研修会の取り組み

山形県立新庄病院 薬剤部 萬年 琢也

■パネルディスカッション8

2日目(3月10日) 16:20～17:40

第1会場(マリオス大ホール)

【東日本大震災】被災地からの発信～福島県～

座長 島田 二郎(福島県立医科大学附属病院ふたば救急総合医療支援センター)
長谷川有史(福島県立医科大学医学部放射線災害医療学講座)

PD8-1 福島第一原子力発電所事故により影響を受けた被災地における医療課題

福島県ふたば医療センター 谷川 攻一

PD8-2 東日本大震災の経験から見える今後の課題～医療と行政の共働の強化～

福島県 保健福祉部地域医療課 玉川 啓

PD8-3 災害対応 公衆衛生医師の立場から

福島県 保健福祉部 金成由美子

PD8-4 東日本大震災 被災地からの発信～福島県～

福島県立医科大学 附属病院 集中治療部 箱崎 貴大

■パネルディスカッション 9

2日目 (3月10日) 14:10～15:40

第2会場 (マリオス小ホール)

【人材育成】災害保健医療の未来～医師～

座長 石井 正 (東北大学病院総合地域医療教育支援部)
高階謙一郎 (京都第一赤十字病院救命救急センター)

PD9-1 総合力を持った救急災害医療を担う人材となるには

東京医科歯科大学病院 救命救急センター / 東京医科歯科大学 社会医学系専門医研修プログラム 岩崎 陽平

PD9-2 病院実習中の医学生に対する災害医療教育がもたらす効果

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 高見 浩樹

PD9-3 リーダー人材育成の場としての日本 DMAT 隊員養成研修：西会場の3年間

兵庫県災害医療センター 川瀬 鉄典

PD9-4 2年近い研修中断を経た新たな赤十字救護班研修の取り組みについて

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科部長兼救命救急センター長 稲田 眞治

PD9-5 JMATにおける人材育成：日本医師会と都道府県医師会が実施する研修が果たす役割と展望

兵庫県医師会 救急災害医療委員会 平林 弘久

■パネルディスカッション 10

2日目 (3月10日) 15:50～17:20

第2会場 (マリオス小ホール)

連続する災害と保健所：健康危機管理体制とその支援

座長 坂元 昇 (川崎市立看護大学)
小早川義貴 (国立病院機構本部 DMAT 事務局福島復興支援室)

PD10-1 中核市保健所であるいわき市保健所が経験した最近15年間の大規模健康危機管理事象への対応

いわき市 いわき市保健所 新家 利一

PD10-2 令和2年豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症対応における職員の労務管理・産業保健—熊本県での経験

熊本県 菊池保健所 劔 陽子

PD10-3 新型コロナウイルス感染症第4波にかかるDMAT支援～受援側としての「大阪市の状況」～

大阪市保健所 管理課 中山 浩二

PD10-4 コロナ禍における保健所支援

国立病院機構本部 DMAT 事務局 松田 宏樹

■パネルディスカッション 11

2日目(3月10日) 8:20～9:50

第3会場(アイーナ8階804)

国際支援

座長 大場 次郎(順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科)
小井土雄一(独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局長)
糟谷 良久(独立行政法人国際協力機構 国際緊急援助隊事務局次長)

PD11-1 薬剤師としての国際協力

ザンビア病院運営管理能力強化プロジェクト 病院技術プロジェクト 塩田 浩平

PD11-2 行きたい国でしたい仕事をできる喜び

独立行政法人国際協力機構 国際緊急援助隊事務局 緊急援助第一課 兼 第二課 北原 聡子

PD11-3 非医療職分野での人道支援への貢献

日本赤十字社 国際部 企画課 羽田 達矢

PD11-4 国際支援活動 ～NGOに常勤する医師の目線から～

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 坂田 大三

PD11-5 災害人道医療支援会(HuMA)の活動

災害人道医療支援会 佐藤 隼人

■パネルディスカッション 12

2日目(3月10日) 10:00～11:30

第3会場(アイーナ8階804)

【人材育成】国際人材育成：JDR × ARCH 合同セッション

座長 久保 達彦(広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学)
大場 次郎(順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科)

PD12-1 ARCH2 実施計画及び JADM、JDR の日本の災害医療関係者との連携強化

国際協力機構 ARCH2 プロジェクト 池田 修一

PD12-2 ASEAN 災害医療強化プロジェクトにおける人材育成

医療法人白卯会 白井病院 救急外科 甲斐 達朗

PD12-3 災害医療の国際的動向と人材育成ニーズ

世界保健機関(WHO) 健康開発総合研究センター 茅野 龍馬

PD12-4 ARCH プロジェクトを通じた JDR 医療チームにおける国際人材の育成について

独立行政法人国際協力機構 国際緊急援助隊事務局 伊藤 敦

PD12-5 ARCH プロジェクトと連系した我が国の災害医学の未来

広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 久保 達彦

PD12-6 国際緊急援助隊医療チーム設立 40 周年 ―継承と変革の時を迎えて―

日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 井上 潤一

■パネルディスカッション 13

2 日目 (3 月 10 日) 8:20 ~ 9:50

第 4 会場 (アイーナ 8 階 803)

【人材育成】災害保健医療の未来～臨床検査技師～

座長 澤畑 良一 (藤沢市民病院 臨床検査室)
太田麻衣子 (医療法人鉄蕉会 亀田総合病院)

PD13-1 災害医療分野における臨床検査技師への地域での人材育成

神戸赤十字病院 検査部 安部 史生

PD13-2 日本臨床衛生検査技師会での人材育成

医療法人社団 大須賀医院 理事会 森谷 裕司

PD13-3 国内災害での人材育成の課題

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 救急業務室 南島 友和

PD13-4 国際災害での人材育成

岡崎市保健所 保健衛生課 佐藤 千歳

■パネルディスカッション 14

2 日目 (3 月 10 日) 10:00 ~ 11:30

第 4 会場 (アイーナ 8 階 803)

【人材育成】災害保健医療における臨床工学技士の活動と人材育成

座長 三木 隆弘 (日本大学病院 臨床工学室)
陶山 真一 (旭川赤十字病院 医療技術部 臨床工学)

PD14-1 災害医療における海上自衛隊臨床工学技士の役割

自衛隊横須賀病院 診療部 / 自衛隊横須賀病院 衛生資材部 岩田 英城

PD14-2 国内外災害における医療支援における臨床工学技士の活動と必要な人材育成

日本大学病院 臨床工学室 三木 隆弘

PD14-3 医療機関での災害対策における BCP と CE の役割

横浜市民病院 臨床工学部 相嶋 一登

PD14-4 熊本地震発災時における臨床工学技士の活動と求められた技能

熊本赤十字病院 腎臓内科部 臨床工学課 森 正樹

■パネルディスカッション 15

2 日目 (3 月 10 日) 14:10 ~ 15:40

第 4 会場 (アイーナ 8 階 803)

放射線災害対応の過去・現在、そして未来 - 誰が命を救うのか

座長 長谷川有史 (福島県立医科大学医学部放射線災害医療学講座)
廣橋 伸之 (広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究部門 放射線災害医療開発研究分野)

PD15-1 中越沖地震における原子力災害対応からの教訓

新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター 熊谷 謙

PD15-2 福島第一原発事故における対応

量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 富永 隆子

- PD15-3 福島事故当時の原子力災害医療（看護師からみた医療チームの役割）
長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻 吉田 浩二
- PD15-4 原子力災害時のオンサイト医療
公益財団法人原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所 山本 尚幸
- PD15-5 診療放射線技師の災害および被ばく医療教育ニーズ調査：放射線災害対応の未来と人材育成
弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 辻口 貴清
- PD15-6 放射線災害の本質と必要な対応
国立病院機構本部 DMAT 事務局 近藤 久禎

■パネルディスカッション 16

2 日目（3 月 10 日）17:30～19:00

第 4 会場（アイーナ 8 階 803）

各組織の災害支援体制について

座長 小谷 聡司（DMAT 事務局）
小平 博（兵庫県立淡路医療センター）

- PD16-1 日本赤十字社の災害支援体制
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 情報企画連携室長 丸山 嘉一
- PD16-2 済生会の災害支援体制と人材育成
社会福祉法人 恩賜財団 済生会 本部事務局 見浦 継一
- PD16-3 AMAT の災害時および平時の対応・体制について
直和会 平成立石病院 地域救急医療センター / 全日本病院協会 救急・防災委員会 大桃 丈知
- PD16-4 民間医療グループが取り組む災害医療支援体制～ NPO 法人 TMAT の事例～
特定非営利活動法人 TMAT 事務局 / 医療法人 / 一般社団法人 徳洲会 本部 野口 幸洋
- PD16-5 戸田中央メディカルケアグループ災害医療支援チームの創設と運営
戸田中央メディカルケアグループ 災害対策特別顧問 野口 英一
- PD16-6 NGO ピースウィンズによる災害支援体制
ピースウィンズ・ジャパン 稲葉 基高

■パネルディスカッション 17

2 日目（3 月 10 日）14:10～15:30

第 5 会場（アイーナ 8 階 812）

【人材育成】災害保健医療の未来～福祉～

座長 原田奈穂子（岡山大学 学術研究院ヘルスシステム統合学域看護科学分野）
中野めぐみ（国立病院機構浜田医療センター）

- PD17-1 新型コロナウイルス感染症入退院待機ステーションにおける OWAT による取り組みと人材育成
友愛医療センター 地域医療部 入退院支援室 赤平 幸奈
- PD17-2 福祉関係者の人材育成～市区町村レベルでの災害対応研修の実践を通して～
関西学院大学 人間福祉学部 平井亜里砂

- PD17-3 介護福祉施設における人材育成の実践
愛知医科大学 医学部 災害医療研究センター 津田 雅庸
- PD17-4 DMORT（災害死亡者家族支援チーム）のための人材育成
神戸赤十字病院 心療内科 / 一般社団法人日本 DMORT 副理事長 村上 典子
- PD17-5 災害派遣福祉チームによる避難生活支援から生活再建支援まで～保健・医療チームとの連携を考える～
岩手県立大学 社会福祉学部 伊藤 隆博

■パネルディスカッション 18

2 日目（3 月 10 日）15:50 ～ 16:50

第 5 会場（アイーナ 8 階 812）

【人材育成】災害リハビリテーションの過去・現在、そして未来

座長 富岡 正雄（大阪医科薬科大学医学部総合医学講座リハビリテーション医学教室）
中村 春基（一般社団法人 日本作業療法士協会）

- PD18-1 気仙沼災害医療におけるリハビリテーション支援活動の検証—被災地災害医療コーディネーターの立場から—
気仙沼市立病院 脳神経外科 成田 徳雄
- PD18-2 各専門職の専門性を生かした支援が行われた福祉避難所の成果
国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 災害医療分野 石井美恵子
- PD18-3 東日本大震災における岩手県でのリハビリテーション支援活動
（公財）いわてリハビリテーションセンター 理事長 大井 清文
- PD18-4 JRAT の発足と現在の取り組みそして課題
一般社団法人 日本作業療法士協会 中村 春基
- PD18-5 JRAT の人材育成について
大阪医科薬科大学 医学部総合医学講座リハビリテーション医学教室 富岡 正雄

■パネルディスカッション 19

2 日目（3 月 10 日）17:30 ～ 19:10

第 5 会場（アイーナ 8 階 812）

災害時の医薬品供給体制について ～薬事コーディネーターの役割と必須医薬品～

座長 渡邊 暁洋（岡山大学学術研究院医歯薬学域）
萬年 琢也（山形県立新庄病院 薬剤部）

- PD19-1 災害薬事コーディネーターの現状と今後の展望
厚生労働省 医薬・生活衛生局 総務課 矢作 啓
- PD19-2 災害時の薬剤師活動マニュアルの作成と体制整備について
福岡大学 薬学部 臨床薬学 江川 孝
- PD19-3 被災地での医薬品等供給に対する薬局の取り組み～令和 4 年度大規模地震時医療活動訓練における検証～
新潟大学 医学部 災害医療教育センター / 藤田医科大学 地域医療産学連携共同研究講座 和泉 邦彦

PD19-4 高知県における医薬品供給体制と災害薬事コーディネーターの育成
公益社団法人高知県薬剤師会 情報センター 西森 郷子

PD19-5 災害時における糖尿病治療薬
佐賀大学 医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科 安西 慶三

■パネルディスカッション 20

3日目 (3月11日) 8:20～9:50

第3会場 (アイーナ8階804)

【人材育成】新型コロナウイルス感染症がもたらした人材育成への影響

座長 若井 聡智 (DMAT事務局)
佐藤 浩章 (大阪大学全学教育推進機構)

PD20-1 日本赤十字社のパンデミックにおける救護員育成の状況
さいたま赤十字病院 高度救命救急センター / 日本赤十字社救護員育成検討委員会 田口 茂正

PD20-2 オンライン研修のメリットは実際に活かされているか - 新型コロナウイルス感染症がもたらしたもの -
新潟大学 医学部災害医療教育センター 中込 悠

PD20-3 新型コロナウイルス感染症が及ぼした当法人の研修会への影響
石巻赤十字病院 災害救護課 魚住 拓也

PD20-4 With コロナにおける国際緊急援助隊医療チームの人材育成と研修計画
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科 / 国際緊急援助隊 医療チーム 診療調整部 / 人材育成班 大場 次郎

PD20-5 新型コロナウイルス感染症がもたらした人材育成への影響：DMAT研修
独立行政法人国立病院機構 本部DMAT事務局 若井 聡智

■パネルディスカッション 21

3日目 (3月11日) 10:00～11:30

第3会場 (アイーナ8階804)

【人材育成】災害保健医療の未来～救急救命士～

座長 鈴木 健介 (日本体育大学大学院 保健医療学研究科 救急災害医療学専攻)
加藤 渚 (東京医科歯科大学病院 救命救急センター / 災害テロ対策室)

PD21-1 病院救命士の災害医療現場での活躍に求められるロジスティクスの教育とは
国立病院機構本部 DMAT事務局 増留 流輝

PD21-2 医療機関に従事する救急救命士の災害時の活用と今後の課題
札幌東徳洲会病院 救急センター救急救命士 井沼 浩政

PD21-3 救助現場で活動する救急救命士の人材育成
海上保安庁 第二管区海上保安本部 仙台航空基地 内田 裕聖

PD21-4 救急救命士養成課程学生が「技術系ボランティア」として参加した被災地救援～コロナ禍で学生の被災地訪問を可能にするための実践的教育～
日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科 / 日本体育大学大学院 保健医療学研究科 災害救急医療学 中澤 真弓

PD21-5 災害人道医療支援会に所属する救急救命士の活動と人材育成
認定特定非営利活動法人災害人道医療支援会 北野信之介

PD21-6 兵庫県災害医療センターにおける災害医療に係る救急救命士の教育研修

兵庫県災害医療センター 事業課 菊池 悠

■パネルディスカッション 22

3日目 (3月11日) 10:00～11:30

第4会場 (アイーナ8階803)

【人材育成】災害保健医療の未来～診療放射線技師～

座長 中島 成隆 (JA愛知厚生連豊田厚生病院 救急科)
中田 正明 (兵庫県災害医療センター 放射線課)

PD22-1 日本赤十字社診療放射線技師会での人材育成の取り組み

日本赤十字社診療放射線技師会 日本赤十字社診療放射線技師会 浅妻 厚

PD22-2 全国国立病院療養所放射線技師会の災害医療への取り組みと課題 ～原子力災害医療への対応を中心に～

国立病院機構相模原病院 統括診療部 放射線科 武田 聡司

PD22-3 日本診療放射線技師会における現在の人材育成の取り組みと今後の展望及び他組織との連携

公益社団法人日本診療放射線技師会 副会長 江藤 芳浩

PD22-4 原子力災害の人材育成に関する現状と今後の展望

福島県立医科大学 保健科学部 診療放射線科学科 大葉 隆

■パネルディスカッション 23

3日目 (3月11日) 12:50～14:20

第4会場 (アイーナ8階803)

【人材育成】災害保健医療の未来～保健師～

座長 尾島 俊之 (浜松医科大学健康社会医学講座)
奥田 博子 (国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)

PD23-1 自治体保健師による健康危機管理時の役割の変化と現任教育

国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 奥田 博子

PD23-2 災害時に保健師に求められる役割と能力

国立病院機構本部 DMAT 事務局 福島復興支援室 小早川義貴

PD23-3 災害時に求められる保健師の人材育成～健康危機管理時の統括保健師の役割～

釜石市 保健福祉部 佐々木尊子

PD23-4 災害前から求められる災害時における保健師の人材育成 ～地域包括支援活動を通じた提言～

岩手医科大学 教養教育センター 人間科学科体育学分野 佐々木亮平

PD23-5 危機管理に関わる保健師教育

日本赤十字看護大学 看護学部看護学科 石田 千絵

■パネルディスカッション 24

3日目(3月11日) 10:00～11:30

第5会場(アイーナ8階812)

災害時の保健医療福祉調整本部に関する過去、現在と未来 - 健康危機管理センター設立に向けて

座長 小井土雄一(国立病院機構本部 DMAT 事務局)
久保 達彦(広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学)

PD24-1 保健医療福祉調整本部の過去、現在と未来

浜松医科大学 医学部 健康社会医学講座 尾島 俊之

PD24-2 国立感染症研究所における EOC 機能構築の経験から

国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター 齋藤 智也

PD24-3 原子力災害に対応する PHEOC の過去、現在と未来

広島大学 原爆放射線医科学研究所 田代 聡

PD24-4 健康危機管理センターのあり方について

国立病院機構本部 DMAT 事務局 近藤 久禎

PD24-5 行政職の指揮調整能力強化に向けた人材育成の課題と展望：海外の人材育成プログラムを参考に

国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 富尾 淳

PD24-6 災害対応者の健康被害防止の必要性

産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 立石清一郎

■パネルディスカッション 25

3日目(3月11日) 12:50～14:20

第5会場(アイーナ8階812)

冬期の自然災害と低体温症～日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・津波災害への備え～

座長 植田 信策(石巻赤十字病院 治験・臨床研究センター)

PD25-1 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・津波災害の被災想定と避難所運営

日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター 根本 昌宏

PD25-2 津波災害の溺水と低体温症

日本赤十字看護大学 付属災害・救護研究所 栗栖 茜

PD25-3 津波災害と低体温症対策

山岳医療救助機構 医療救助部 / 社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院 循環器内科・山岳登山外来 / 日本大学医学部 内科学講座 大城 和恵

PD25-4 東日本大震災における低体温症患者の受入・治療戦略

石巻赤十字病院 救命救急センター 小林 道生

PD25-5 寒冷環境下における SCU 医療展開への備え 北海道の取り組み

札幌医科大学 医学部救急医学講座 水野 浩利

■社会医学系専門医共通講習（医療倫理）

2日目（3月10日）9:30～10:30

第2会場（マリオス小ホール）

医療倫理～基本的な考え方から災害支援の倫理的課題まで～

座長 高橋 昌（新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野）

CP1 医療倫理～基本的な考え方から災害支援の倫理的課題まで～

新潟大学大学院 保健学研究科 宮坂 道夫

■社会医学系専門医共通講習（医療安全）

2日目（3月10日）18:00～19:00

第1会場（マリオス大ホール）

災害医学と医療安全

座長 若井 聡智（独立行政法人国立病院機構 本部DMAT事務局）

CP2 災害医療と医療安全

岩手医科大学 医療安全学講座、医療安全管理部 肥田 圭介

■救急科領域講習 1

1日目（3月9日）17:30～18:30

第3会場（アイーナ8階804）

座長 長島 広相（岩手医科大学附属病院 感染制御部）

救急科領域講習-1 津波肺～定義・原因・検査・治療・災害時の問題点・対応を整理する～

石巻赤十字病院 救命救急センター 小林 道生

■救急科領域講習 2

2日目（3月10日）18:20～19:20

第3会場（アイーナ8階804）

座長 中山 伸一（兵庫県災害医療センター）

救急科領域講習-2 クラッシュ症候群について～特別委員会の設置も含めて～

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科 大場 次郎

■学会主導研究委員会企画

3日目（3月11日）8:20～9:50

第4会場（アイーナ8階803）

災害医学研究をしたくなる！

座長 大友 康裕（東京医科歯科大学）

越智 小枝（東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座）

学会主導研究委員会企画-1 災害医学と救急医学の研究の違いから考える災害医療人材の育成とキャリアパスの課題

国立病院機構本部 DMAT 事務局 新興感染症等対策課 赤星 昂己

学会主導研究委員会企画-2 基礎研究から災害医学研究へ

新潟大学 医学部 災害医療教育センター 和泉 邦彦

学会主導研究会企画-3 適切な薬物療法を提供するためのストラテジー

福岡大学 薬学部 臨床薬学研究室 江川 孝

学会主導研究会企画-4 災害医学研究とは何か

東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 越智 小枝

学会主導研究会企画-5 J-SPEED の手法を活用した災害医療 / 健康危機管理活動のデータ化

広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 久保 達彦

学会主導研究会企画-6 未来の防災に資する災害医学と他分野との学際的研究

東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野 佐々木宏之

学会主導研究会企画-7 DMAT と災害医学研究

愛知医科大学 災害医療研究センター 高橋 礼子

学会主導研究会企画-8 災害医学研究の社会還元

福島県立医科大学 医学部 放射線災害医療学講座 長谷川有史

学会主導研究会企画-9 看護学における災害関連研究の概要と課題

岡山大学 大学院ヘルスシステム統合科学研究科 原田奈穂子

学会主導研究会企画-10 災害医療ロジスティクスと災害医学研究

岩手医科大学 医学部 救急・災害医学講座 藤原 弘之

学会主導研究会企画-11 公的機関における災害医学研究

国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 富尾 淳

■小児周産期委員会企画

1 日目 (3 月 9 日) 13:40 ~ 15:10

第 5 会場 (アイーナ 8 階 812)

【人材育成】災害医療における小児周産期医療従事者の人材育成

座長 海野 信也 (JCHO 相模野病院周産期医療センター)
高村 ゆ希 (東京医科歯科大学病院看護部)

小児周産期委員会企画-1 神奈川県における小児周産期リエゾンを活用した COVID-19 入院調整体制の教訓

神奈川県庁 / 藤沢市民病院 / 済生会横浜市東部病院 阿南 英明

小児周産期委員会企画-2 リエゾン先生！知ってください行政対応の裏表

北海道 保健福祉部 人見 嘉哲

小児周産期委員会企画-3 災害時周産期リエゾンの役割

岩手医科大学 産婦人科 羽場 巖

小児周産期委員会企画-4 災害時小児周産期リエゾン養成の現状と課題

日本災害医学会 小児周産期領域災害対策検討委員会 塚原 紘平

■ MCLS 委員会企画

2 日目 (3 月 10 日) 8:20 ~ 9:20

第 5 会場 (アイーナ 8 階 812)

MCLS-CBRNE コースの改訂について、MCLS の新たなコースの紹介

座長 阿南 英明 (神奈川県医療危機対策統括室)
高橋 栄治 (独立行政法人国立病院機構渋川医療センター)

MCLS 委員会企画-1

神奈川県医療危機対策統括室 阿南 英明

MCLS 委員会企画-2

独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 高橋 栄治

■ DMAS 企画

3 日目 (3 月 11 日) 15:20 ~ 16:20

第 5 会場 (アイーナ 8 階 812)

教えて先生！学生×専門家【座談会】

座長 小早川義貴 (国立病院機構本部 DMAT 事務局 福島復興支援室)
荻田 義明 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)

座談会 -1

神奈川県庁 / 藤沢市民病院 阿南 英明

座談会 -2

国立病院機構本部 DMAT 事務局 赤星 昂己

座談会 -3

愛知医科大学 災害医療研究センター 高橋 礼子

座談会 -4

岡山大学 渡邊 暁洋

座談会 -5

東京医科歯科大学 高村 ゆ希

■ 主題関連 1

1 日目 (3 月 9 日) 13:40 ~ 14:28

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

人材育成 新型コロナウイルス

座長 中森 知毅 (労働者健康安全機構 横浜労災病院)
成松 英智 (札幌医科大学 救急医学講座・高度救命救急センター)

主題関連 1-1 新型コロナウイルス感染症がもたらした当院における人材育成への影響

荒尾市民病院 救急科 松園 幸雅

主題関連 1-2 宮城県ローカル DMAT 若手医師隊員の研修会・訓練参加に関する調査 ～宮城県研修医 DMAT たちの現状～

東北大学病院 総合外科 鈴木 翔輝

- 主題関連 1-3 大規模実働訓練が、訓練参加者の新型コロナ感染に与える影響
大阪赤十字病院 国際医療救援部 中出 雅治
- 主題関連 1-4 感染症パンデミックによる勉強会の開催形式変化がもたらした、学生の災害医療へのアクセス変化についての分析
学生 東北医科薬科大学 医学部医学科 浦尾 樹正
- 主題関連 1-5 新型コロナウイルスにより制限された学習環境下で取り組んだ人材育成支援の工夫
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 新興感染症対策課 佐藤 浩之
- 主題関連 1-6 新型コロナウイルス感染症対策における病院救急救命士のスキルアップ
所沢明生病院 外科 森崎 善久

■主題関連 2

1 日目 (3 月 9 日) 14:40 ~ 15:36

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

人材育成 1

座長 中森 知毅 (労働者健康安全機構 横浜労災病院)
川谷 陽子 (愛知医科大学病院)

- 主題関連 2-1 県と協働する災害医療人の育成 長崎大学病院災害医療支援室の取組
長崎大学病院 災害医療支援室 / 長崎大学病院 高度救命救急センター 山下 和範
- 主題関連 2-2 第 25 回日本病院総合診療医学会学術総会において災害関連セッションを企画して
岩手県立胆沢病院 総合診療科 渋谷 俊介
- 主題関連 2-3 リハビリテーション専門職における災害リハビリテーション基礎知識の現状に関する一考察
医療法人社団木星会 山鹿温泉リハビリテーション病院 総合リハビリテーション部 / 熊本県災害リハビリテーション推進協議会 (熊本 JRAT) 事務局 佐藤 亮
- 主題関連 2-4 国際緊急援助隊 (JDR) 医療チーム リハビリテーション部門の整備および人材育成
医療法人藤井会 香芝生喜病院 リハビリテーション室 水家健太郎
- 主題関連 2-5 NGO による横断的視点に立った支援人材育成のとりくみ
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 国内事業部 林田 光代
- 主題関連 2-6 医療資格を持つ業務調整員の活用
札幌東徳洲会病院 救急センター救急救命士 井沼 浩政
- 主題関連 2-7 大規模災害時の空路搬送 (地域医療搬送) 調整に関する学習機会の創出と指揮官育成
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター / 日本医科大学大学院 救急医学教室 本村 友一

■主題関連 3

1 日目 (3 月 9 日) 15:40 ~ 16:28

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

人材育成 2

座長 本間 正人 (鳥取大学医学部救急災害医学分野)
河嶌 讓 (厚生労働省委託事業 DPAT 事務局 / 国立病院機構本部 DMAT 事務局)

主題関連 3-1 新潟大学における文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラムをベースとした災害医療教育の成果と今後

新潟大学 医学部 災害医療教育センター 和泉 邦彦

主題関連 3-2 救急救命士養成大学としての災害医療人の育成

日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科 / 日本体育大学大学院 保健医療学研究科 救急災害医療学 中澤 真弓

主題関連 3-3 「ポストコロナ時代における医療人材育成拠点形成事業 (黒潮プロジェクト)」における医学部生への病院避難二次トリアージ机上訓練

三重大学病院 災害対策推進・教育センター / 三重大学病院 救命救急・総合集中治療センター 家城 洋平

主題関連 3-4 大学医学部および医学系大学院における災害医学教育の向上を目指して ~佐賀大学における 18 年間の教育経験からの考察~

佐賀大学 医学部 社会医学講座 新地 浩一

主題関連 3-5 研修歯科医に対する災害発生直後の歯科外来初動対応訓練にむけて

広島大学大学院 医系科学研究科附属死因究明教育研究センター 岡 広子

主題関連 3-6 南海トラフ巨大地震、津波浸水が想定される大学病院での災害医療人の育成 - 医学部生、医療・事務教職員、病院執行部の立場に応じて

三重大学 医学部附属病院 災害対策推進・教育センター / 三重大学 医学部附属病院 肝胆臓・移植外科 岸和田昌之

■主題関連 4

1 日目 (3 月 9 日) 16:30 ~ 17:18

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

人材育成 3

座長 中山 伸一 (兵庫県災害医療センター)
千島佳也子 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)

主題関連 4-1 「まちの減災ナース指導者」研修とその活動を通じた人材育成 - 地域に根差した減災活動への目覚めとこれから -

清泉女学院清泉女学院大学 看護学部看護学科 小原真理子

主題関連 4-2 長崎大学病院独自の制度を活用したキャリア支援の実践

長崎大学病院 災害医療支援室 宮田 佳之

主題関連 4-3 新人看護師から DMAT まで災害リンクナースがつなぐ災害医療人材育成

秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター 山平 大介

主題関連 4-4 災害時病院対応と病院籠城支援ソリューション (Damaged Hospital Continuation Support:DHCoS) の開発 [第 2 報] ~事前リストによる戦略的対応に向けて~

愛知医科大学 災害医療研究センター 高橋 礼子

主題関連 4-5 本邦における Emergo Train System の過去、現在そして未来

富山大学 災害・救命センター / 富山大学 先端危機管理医学 若杉 雅浩

主題関連 4-6 Hospital BCP の一環として LCP[生活継続計画]の職員に対しての提案

大阪市立総合医療センター 総務課 / 大阪市立総合医療センター 救命救急部 竹中 久美

■主題関連 5

2 日目 (3 月 10 日) 8:20 ~ 9:08

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

災害保健医療を平時の保健医療に生かす

座長 奥山 学 (秋田大学救急集中治療医学講座)
横堀 将司 (日本医科大学 救急医学教室)

主題関連 5-1 災害対策を重視した職場巡視

手稲溪仁会病院 救命救急センター / 手稲溪仁会病院 産業医 岡本 博之

主題関連 5-2 平時の個別事案を含む CBRNE 初動体制の強化 ~隣接病院での少人数の walk-in 事案を経験して~

兵庫県災害医療センター 救急部 菊田 正太

主題関連 5-3 L-DMAT 対応で運航対策室に DMAT が入り、ドクターヘリ 2 機でピストン搬送し分散搬送対応した多数傷病事案

順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科 大坂 裕通

主題関連 5-4 災害対応を平時の業務にいかす

秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター 奥山 学

主題関連 5-5 災害時にこそ PEMEC を!

東北大学病院 救急科・高度救命救急センター / 日本臨床救急医学会 PEMEC 企画運営小委員会 佐藤 哲哉

主題関連 5-6 京都市左京区における地震応答推定システム導入による病院間ネットワーク構築と地域医療連携への応用

京都大学医学部附属病院 初期診療・救急科 / 京都大学防災研究所 地域医療 BCP 連携研究分野 / 京都大学防災研究所 地震防災研究部門 耐震機構研究分野 / 京都大学医学部附属病院 地域ネットワーク医療部 / 京都大学医学部附属病院 医療器材部 趙 晃済

■主題関連 6

2 日目 (3 月 10 日) 9:10 ~ 9:50

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

感染症対策

座長 北川 喜己 (名古屋掖済会病院救命救急センター)
奥村 順子 (長崎大学熱帯医学研究所)

主題関連 6-1 避難所の感染症対策~デザイン思考に基づく新型ガウンの評価~

福井工業大学 工学部 建築土木工学科 竹田 周平

主題関連 6-2 コロナ禍におけるデフリンピック~日本選手団帯同看護師の役割と課題~

特定非営利活動法人ピースウィンズジャパン 国内事業部 新谷 絢子

主題関連 6-3 新型コロナウイルスへの水際対策について ―今後の新たな感染症発生時における検疫体制も見据えて―
厚生労働省 DMAT 事務局 新興感染症対策課 小谷 聡司

主題関連 6-4 南多摩保健医療圏災害医療ワーキンググループと大学の連携による保健所の COVID-19 対策業務支援
東京薬科大学 薬学部 臨床薬理学教室 / 南多摩保健医療圏災害医療ワーキンググループ 平田 尚人

主題関連 6-5 東京都内救命救急センターにおける新興感染症対応：災害対応の教訓を生かして
日本医科大学付属病院 救命救急科 横堀 将司

■主題関連 7

2 日目 (3 月 10 日) 9:50 ~ 10:46

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

実災害対応から学ぶ

座長 吉野 篤人 (浜松医科大学救急災害医学講座)
山内 聡 (仙台市立病院)

主題関連 7-1 東日本大震災における在宅避難と健康影響に関する潜在的リスク分析
- 宮城県南三陸町の災害診療記録を用いた後ろ向き観察研究 -
東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野 坪井 基浩

主題関連 7-2 病院避難活動の源流を振り返る。～東日本大震災における石巻市立病院での DMAT 活動～
独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 救急科 町田 浩志

主題関連 7-3 ある福島県地方病院における東日本大震災後の災害医療活動
柘記念病院 災害救急医療部 石川 敏仁

主題関連 7-4 災害医療における血液浄化療法の役割
東北大学 大学院医学系研究科腎・膠原病・内分泌内科学分野 宮崎真理子

主題関連 7-5 大規模災害時の社会維持・回復へ：災害時の心理・治安問題を歴史的に振り返って考える
津端会京葉病院 外科 原口 義座

主題関連 7-6 台風 15 号による局地的長期断水に対する災害拠点病院としての対応について
静岡市立清水病院 看護部 看護科 菊池 誠

主題関連 7-7 保健所の地域保健医療福祉調整本部等の令和元年の風水害における活動
浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島 俊之

■主題関連 8

2 日目 (3 月 10 日) 10:50 ~ 11:46

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

災害保健医療の未来・Society 5.0

座長 久野 将宗 (日本医科大学多摩永山病院救命救急科)
末永利一郎 (山口赤十字病院)

主題関連 8-1 災害多発時代に適したこれからの情報連携型保健所の必要機能と空間構成

摂南大学 理工学部 建築学科 池内 淳子

主題関連 8-2 大規模地震時医療活動訓練におけるドローンオペレーション実証訓練

済生会福岡総合病院 救命救急センター / 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター / 日本医科大学 救急医学教室
/ 日本医療防災技術研究所 久城 正紀

主題関連 8-3 モバイル空間情報を用いた被害想定の新分析

大阪公立大学大学院 医学研究科 救急医学 山本 啓雅

主題関連 8-4 D24H の過去・現在・未来

厚生労働省 大臣官房厚生科学課健康危機管理・災害対策室 近藤 祐史

主題関連 8-5 Mass Casualty Incident における 360 度ライブストリーミングによる現場映像共有の活用について

福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター / 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター /
日本医科大学 救急医学教室 久城 正紀

主題関連 8-6 災害訓練の「片手間」に、バーチャルリアリティ (VR) 教材を作成する

防衛医科大学校病院 救急部 田中 文華

主題関連 8-7 IT を利用した円滑な後方支援～ kintone の活用～

愛仁会千船病院 救急診療部 / 認定 NPO 法人 災害人道医療支援会 山下 公子

■主題関連 9

2 日目 (3 月 10 日) 14:10 ~ 14:58

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

新型コロナウイルス

座長 加納 秀記 (愛知医科大学病院 救急診療部)
落合 秀信 (宮崎大学医学部救急・災害医学)

主題関連 9-1 COVID-19 のクラスターが起きた慢性期病院における死亡事例の検討

独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 新興感染症対策課 佐藤 浩之

主題関連 9-2 災害時に即応可能な迅速 PCR 検査の確立

新潟大学 医学部 法医学教室 / 新潟大学 死因究明教育センター 小山 哲秀

主題関連 9-3 介護高齢者施設における COVID-19 クラスター対策としての早期スクリーニング検査の意義に関する研究

利根中央病院 総合診療科 / 利根中央病院 救急科 鈴木 論

主題関連 9-4 当院での COVID-19 クラスター対応の経験

飯塚病院 救急科 山田 哲久

主題関連 9-5 大阪府高齢者施設等クラスター対応強化チームの活動

大阪府 健康医療部保健医療室感染症対策企画課 辻野 悦次

主題関連 9-6 新型コロナ感染パンデミック時の当院における危機管理対策と救急対応の変化

順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科 近藤 豊

■主題関連 10

2 日目 (3 月 10 日) 15:00 ~ 15:48

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

新型コロナウイルス

座長 石井 圭亮 (大分大学減災・復興デザイン教育研究センター)
中村 光伸 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)

主題関連 10-1 またの名をウーバーワクチン

神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 有吉 孝一

主題関連 10-2 COVID-19 パンデミックにおける自作 ICT システム OCAS の有用性

社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター 米盛 輝武

主題関連 10-3 トリアージ機能を備えた COVID19 感染患者の待機ステーション

久留米大学病院 高度救命救急センター 山下 典雄

主題関連 10-4 新型コロナウイルス感染症への災害対応と医師会との連携

国立病院機構本部 DMAT 事務局 三村 誠二

主題関連 10-5 コロナ禍で結束し発揮した他機関連携

石橋地区消防組合 消防本部 総務課 北村 浩一

主題関連 10-6 災害級の感染症流行期において病院前救急医療のひっ迫を緩和するために

淀川キリスト教病院 救急科・集中治療科 夏川 知輝

■主題関連 11

2 日目 (3 月 10 日) 15:50 ~ 16:30

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

新型コロナウイルス

座長 北川 喜己 (名古屋掖済会病院救命救急センター)
佐々木秀章 (沖縄赤十字病院 救急集中治療科)

主題関連 11-1 パラオ共和国における COVID-19 パンデミックに対する緊急医療支援

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 国内事業部 北川 光希

主題関連 11-2 新型コロナ感染症における業務継続計画 (BCP) の Resilience Curve による解釈

岡山大学 災害医療マネジメント学講座 中尾 博之

主題関連 11-3 院内クラスター対策本部設立・運営と病院 BCP

国立病院機構静岡医療センター 診療部 麻酔科・集中治療部 小澤 章子

主題関連 11-4 COVID-19 第 6 波—墨田区主導のコロナ臨時病床 (同愛記念病院併設型臨時医療施設) 開設報告

医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 地域救急医療センター 三浦 邦久

主題関連 11-5 50床救急病院における新型コロナウイルス感染症対応

所沢明生病院 外科 森崎 善久

■主題関連 12

2日目 (3月10日) 16:30～17:18

第6会場 (マリオス 18階 188)

放射線災害

座長 浅利 靖 (北里大学病院救命救急・災害医療センター)
山下 和範 (長崎大学災害医療支援室)

主題関連 12-1 わが国の原子力災害医療派遣チームの現状と課題、そして未来

市立八幡浜総合病院 麻酔科 越智 元郎

主題関連 12-2 原子力発電所周辺の地域特性についての検討 ～要配慮者の社会的包摂をめざした事前対策の必要性～

長浜赤十字病院 医療社会事業部 中村 誠昌

主題関連 12-3 原子力災害医療研修の改良 ―災害に対応できる人材育成のために―

弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 伊藤 勝博

主題関連 12-4 私の経験した放射線災害対応と診療放射線技師としてのこれからの取り組み

岩手医科大学附属病院 中央放射線部 岩城 龍平

主題関連 12-5 災害医療従事者の被ばく線量に関する教育は放射線災害人材育成に重要である
- 千葉 DMAT を対象とした意識調査からみえた課題 -

千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学 栗田 健郎

主題関連 12-6 歴史的背景を踏まえた分野横断的教育による放射線災害医療人育成

広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療開発研究分野 廣橋 伸之

■主題関連 13

3日目 (3月11日) 8:20～9:16

第6会場 (マリオス 18階 188)

各組織の災害支援体制

座長 石原 諭 (兵庫県災害医療センター)
近藤 祐史 (厚生労働省)

主題関連 13-1 九州医師連合会における災害時医療救護体制

沖縄県医師会 災害医療委員会委員長 / 九州医師連合会 救急災害担当 出口 宝

主題関連 13-2 自治体地方支部における災害時の保健衛生部門と防災部門との連携体制構築について

徳島大学 環境防災研究センター / 徳島県南部総合県民局 地域創成防災部 (美波) 坂東 淳

主題関連 13-3 札幌市東区5病院 (HBC5) における地域BCP策定の取り組み

札幌東徳洲会病院 救急・集中治療センター 合田 祥悟

主題関連 13-4 神奈川県における危機発生時の透析医療体制について

関東労災病院 腎臓内科 矢尾 淳

主題関連 13-5 災害時における糖尿病医療支援チーム (DiaMAT)

佐賀大学 医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科 安西 慶三

主題関連 13-6 脆弱病院のリスト化と令和 4 年台風 14 号接近時の安否確認の実際

長崎大学病院 災害医療支援室 木谷 貴嘉

主題関連 13-7 DMAT、DWAT、DICT が合同で行う避難所訓練

健生会土庫病院 中尾 武

■主題関連 14

3 日目 (3 月 11 日) 9:20 ~ 10:16

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

トリアージ

座長 中尾 博之 (岡山大学災害医療マネジメント学講座)
千島佳也子 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)

主題関連 14-1 多数傷病者発生事案における赤タグと黒タグの職種による感覚の違い
ー神戸港パイロットボート事故を通してー

神戸市消防局 警防部救急課 片山 朗

主題関連 14-2 QR コードを用いた簡易的トリアージ情報管理システム (QRcodeDTT) を常時広域複数
災害へも対応させる

みさと健和病院 救急総合内科 山田浩二郎

主題関連 14-3 学校防災訓練と傷病者対応

慶應義塾大学 政策・メディア研究科 吉田 茜

主題関連 14-4 搬送手段と人員の不確定性に対する災害トリアージの有用性: entropy による情報の
定量化を用いて

帝京大学 医学部救急医学講座 安心院康彦

主題関連 14-5 DMAT 養成研修「医療搬送」トリアージ実習における患者選定の後方視的検討

兵庫県災害医療センター 診療部 石原 諭

主題関連 14-6 改めて問い直すトリアージのあり方とタグの形式

東京都立大学 健康福祉学部 石川 秀樹

■主題関連 15

3 日目 (3 月 11 日) 10:20 ~ 11:16

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

避難所

座長 笠岡 俊志 (熊本大学病院 災害医療教育研究センター)
恩部 陽弥 (鳥取大学医学部附属病院 看護部)

主題関連 15-1 自然災害の経験を避難所の健康被害の防止に活かす

熊本大学病院 災害医療教育研究センター 笠岡 俊志

主題関連 15-2 避難民キャンプのデザインを応用した災害保健医療教育プログラム (第二報)

筑波大学 附属病院 古河坂東地域医療教育センター / 茨城西南医療センター病院 救命救急センター 武田 多一

主題関連 15-3 救急タグが避難所を変える

大阪大学 医学部附属病院高度救命救急センター 酒井 智彦

主題関連 15-4 震災遺構を活用した未来の安全な避難所設営のための人材育成

石巻赤十字病院 治験・臨床研究センター 植田 信策

主題関連 15-5 NBC or CBRNE 災害、特に核災害時における避難所・社会維持のあり方の検討、社会を守るためのありかたに関して災害医療の意義を含めて

津端会京葉病院 外科 原口 義座

主題関連 15-6 国際 NGO が挑む避難所 2.0 の取り組み

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 稲葉 基高

主題関連 15-7 「避難所の質の向上を目指す」ためのビデオ通話を用いた情報収集

北里大学 医学部 救命救急医学 服部 潤

■主題関連 16

3 日目 (3 月 11 日) 13:00 ~ 13:48

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

国際支援

座長 井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科)
大場 次郎 (順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科)

主題関連 16-1 国際緊急援助隊医療チームの人材育成

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科 /
独立行政法人国際協力機構 国際緊急援助隊事務局 医療チーム 大場 次郎

主題関連 16-2 NGO によるモルドバ国内におけるウクライナ避難民に対する緊急医療支援活動

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 佐々木綾菜

主題関連 16-3 国際捜索救助諮問グループ (INSARAG) の 2022 年アジア大洋州地震対応演習 (ERE) を通じた EMT initiative 対応能力の向上

日本医科大学多摩永山病院 救命救急科 / 日本医科大学 救急医学教室 久野 将宗

主題関連 16-4 レバノン / パレスチナ難民キャンプにおける人材育成～頻発する「有事」に自ら対応し続けるための医療技術支援

日本赤十字社和歌山医療センター 救急部 / 消化器外科 / 精神科 / 国際医療救援要員 益田 充

主題関連 16-5 国際救援における「戦傷外科」教育の必要性

飯田市立病院 外科 白子 隆志

主題関連 16-6 モンゴル軍中央病院における大量傷者受入れ訓練に対する能力構築支援事業について

自衛隊中央病院 救急科 西山 隆

■主題関連 17

3 日目 (3 月 11 日) 13:50 ~ 14:30

第 6 会場 (マリオス 18 階 188)

未来へ、持続可能な災害保健医療 Sustainable Development Disaster response Goals「SDDGs」

座長 高橋 礼子 (愛知医科大学災害医療研究センター)
中山 伸一 (兵庫県災害医療センター)

主題関連 17-1 マルチステークホルダーによるインクルーシブ防災訓練の提案

健生会土庫病院 中尾 武

主題関連 17-2 これからの災害医療救援：グリーンレスポンスへの対応

大阪赤十字病院 国際医療救援部 中出 雅治

主題関連 17-3 各機関の枠組みを超えた災害医療体制の構築

さいたま市立病院 救急科 / 日本医科大学 救急医学 阪本 太吾

主題関連 17-4 千葉県で完結できる災害体制構築を目指して：これまでの10年とこれからのSDDGs for Chibaの実現にむけて

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター / 日本医科大学 救急医学教室 平林 篤志

主題関連 17-5 薩摩藩伝統の「郷中教育」を模した、中高生からの災害リーダーの育成方法

鹿児島大学病院 救命救急センター 高間 辰雄

■主題関連 18

3日目 (3月11日) 10:30 ~ 11:10

第7会場 (マリオス 18階 181)

CBRNE

座長 森村 尚登 (帝京大学医学部救急医学講座)
上村 修二 (札幌医科大学救急医学講座)

主題関連 18-1 サリン事件アーカイブ化に関わる研究活動報告 (最終報)

(公財) 日本中毒情報センター 本部 奥村 徹

主題関連 18-2 DMAT-CBRNE 対応の今後

総合南東北病院 外科 藁谷 暢

主題関連 18-3 第二次世界大戦における日本戦時下の名古屋大学での医療記録 ~本土空襲に対して入院診療と救急診療に対応した医療の考察

名古屋大学 大学院医学系研究科 救急・集中治療医学分野 /
あいち小児保健医療総合センター 小児救命救急センター 水野 光規

主題関連 18-4 武力攻撃事態対応訓練における災害医療の立場からの提案

独立行政法人 国立病院機構 本部 DMAT 事務局 若井 聡智

主題関連 18-5 当院および当地域における CBRNE 対応の取り組み (過去・現在・未来)

りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 救命診療科 成田麻衣子

■口演 1

1日目 (3月9日) 13:40 ~ 14:22

第7会場 (マリオス 18階 181)

研修・訓練・評価

座長 石井 史子 (NPO 救命おかやま)
稲田 眞治 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)

01-1 2022 年度大規模地震時医療活動訓練において津・伊賀地域 DMAT 活動拠点本部の本部長を経験して

三重中央医療センター 心臓血管外科 浦田 康久

01-2 順天堂大学医学部附属静岡病院における受援のための活動拠点本部訓練の総括

順天堂大学医学部附属静岡病院 救命診療科 大坂 裕通